

1 サッカースタジアムの管理運営についての当社の基本的な考え



私たちが目指すスタジアムは世界基準のサッカースタジアムであり、「まちなかスタジアム」として、試合開催日以外でも一年中いつでもにぎわう都心交流型スタジアムを実現します。

- 中四国唯一のJ1リーグプロサッカークラブとして、広島サッカースタジアムの管理運営を通じて、広島の活性化に貢献します。
- アフターコロナの時代を見据えて、世界に誇れるサッカースタジアムを中心に、広域に多世代の人々を惹きつける魅力的な施設や機能を集積し、広島都心部の回遊性の向上に寄与します。
- 積極的にスタジアム施設の複合利用・多機能化を推進して、年間を通じて施設の収益化を図ります。
- 当社は、広島サッカースタジアムを管理運営することを通じて、広島の街を「遊びに行きたい」「働きたい」「住みたい」、そして最終的には「暮らし続けたい」街にしていく契機にしたいと考えており、その実現に貢献します。

2 多機能化施設(にぎわい施設)の整備・運営

サッカースタジアムを試合日だけでなく年間を通じてにぎわう施設とするため、次の多機能化施設(にぎわい施設)を整備・運営します。

(1) サッカーミュージアム(スタジアムツアー含む)

日本サッカーの発展への貢献や平和への思いなど、サッカー王国広島のレガシーと誇りを次世代へ継承し、国内外へ発信する施設として、スタジアム1階にサッカーミュージアムを整備・運営します。

サッカーに関する展示はもちろん、被爆からの復興とサッカーの関わり、サッカーを通じた国際交流、サッカーを通じて未来へ続く明るい広島の姿＝平和をテーマとした展示を行います。

また、サッカーファンだけでなく県民・市民、観光客等、幅広い人々が楽しめ、学べる場となるよう、体を動かしながら様々な情報に触れてもらう体験型コンテンツを付加する予定としています。

さらに、このミュージアムを起点に、様々な視点でスタジアムを周遊できる魅力的なスタジアムツアーを用意します。

最新ICTを活用したコースや、修学旅行などの団体向けコースなど様々なメニューを用意するほか、時にはサンフレッチェの選手や有名OBと触れ合えるなど、サッカーファンだけでなく観光などで幅広い方々が訪れたいくなるような企画を実施します。



《サッカーミュージアム イメージ》

※イラストはイメージであり、今後整備内容等が変更となる場合があります。

(2) スタジアムショップ

サッカーファンだけでなく、一般の市民・県民・観光客をターゲットにしたスタジアムショップを整備し、観光客向けの魅力ある広島県内特産品や、スタジアムでしか買えないオリジナルグッズ、サポーターに人気のサンフレッチェグッズなどを揃えた複合型店舗をスタジアム2階に整備・運営します。

また、スタジアム1階にも物販テナントを誘致する予定です。

これらのショップは試合日はもちろん、試合日以外も営業を行います。

(3) レストラン・カフェ

スタジアム2階にはフィールドが眺望できるテラスと連携活用可能なレストランを、1階にはカフェなどを誘致する予定です。これらは試合日はもちろん、試合日外も営業を行います。

レストランでは、バラエティ溢れるピアメニューや地元食材中心の新鮮で美味しいフードメニューなどが楽しめます。県民市民に日常的に利用され、県外から訪れる方が是非とも訪れたいくなるような魅力あるスポットとしていきます。



《スタジアムショップ イメージ》



《レストラン イメージ》

※イラストはイメージであり、今後整備内容等が変更となる場合があります。

3 年間を通じて広域から幅広い世代の県民、市民等を集客するための取組

観戦環境向上のための整備や平和発信、県内の魅力発信などの様々な取組により、年間を通じて広域から幅広い世代の集客を図ります。

(1) コンコース売店の整備・運営

スタジアム3階メインコンコースや各フロアに、多彩で魅力的な飲食店舗を多く設置し、Jリーグ試合時だけでなく、他のイベント開催時等にも高品質なサービスを提供します。

また、観客席にしながらドリンクが買えるホーカーサービスや、顧客ニーズに沿ったオリジナルメニュー等を開発します。併せて、スマホによるモバイルオーダーやスマート決済など新たなサービスを採用し、利便性向上に努めます。



※米国アリアンツフィールド
《コンコース売店事例》

(2) 観戦環境向上のための各種設備の追加設置等

スタジアムを訪れた方々へ良質な観戦環境を提供するため、スタジアム内に設置されている各種既存設備に加え、以下の内容について指定管理者として独自に取り組むことを予定しています。

- ① 映像・音響・照明等を活用した演出用コンテンツの制作及びイベント実施団体等への提供
- ② 試合情報提供等のためのサイネージパネルの追加設置(売店やスタジアムショップなど)
- ③ 感染症対策設備(除菌システム)の追加設置
- ④ センサリアルーム用の遊具・装飾の追加設置 など

3 年間を通じて広域から幅広い世代の県民、市民等を集客するための取組(続き)

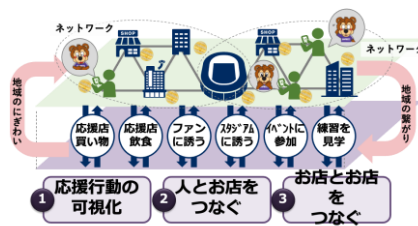
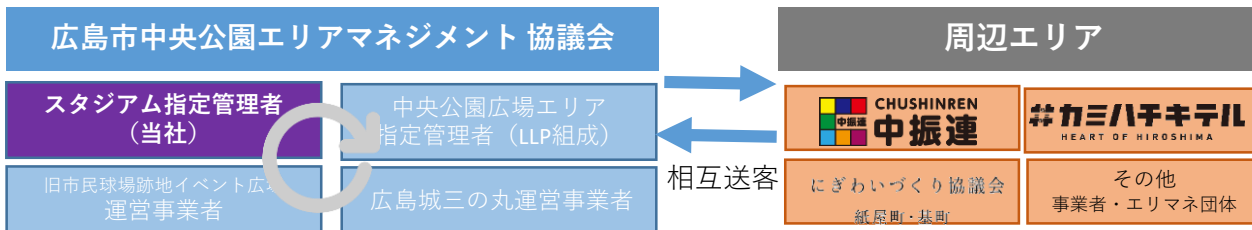
- (3) 平和や広島のスポートの歴史等を発信するための取組
サッカーミュージアムでは平和発信をテーマとした各種展示等に取り組みます。
また、施設利用者であるプロサッカーチームとして毎年開催している「ピースマッチ」に加え、施設管理者としてもスポーツを通じた平和発信のための様々な取組を積極的に開催するよう努めます。
- (4) 県産品の活用や、県内23市町の魅力発信・PRなど県内市町等の参画を図るための取組
スタジアムショップやレストランで県産品を積極的に活用・販売するほか、YouTubeやホームページで県内23市町の魅力を発信します。また、15年以上の実績を持つ「フレンドリータウン」事業として、Jリーグの試合日に各市町の観光物産PRを実施します。
- (5) 非試合日における諸室利用の促進
スタジアム内の諸室について、非試合日にはそれぞれの部屋の仕様に適した目的で複合・多目的利用を積極的に促進します
(VIPエリアのパーティ会場としての活用や、スカイボックス(バラエティーシートの一つ)のシェアオフィスとしての活用など)。
- (6) イベント及び各種事業(スポーツ普及振興事業等)の実施
エディオンスタジアムでのイベント開催経験や、関係者とのネットワークを活用し、様々なイベント開催を予定しています(イベント実施に係る関心表明をイベント会社やメディア関連会社など62社から受領)。
また、サンフレッチェ所属のトレーナーによる健康づくり教室など、スポーツの普及及び振興や、健康増進などを図るための各種事業を実施する予定です。



《シェアオフィス活用事例》

4 中央公園広場エリア指定管理者ほか周辺エリア事業者等との連携

- (1) 中央公園広場エリアの指定管理者との連携
スタジアムと中央公園広場における運営の一体性を確保するため、中央公園広場エリアの指定管理者と有限責任事業組合(LLP)を組成し、施設の使用調整やイベント実施、安全対策のほか、リーシング・集客施策・表示物の設置等で連携を図ります。
- (2) 中央公園のエリアマネジメント及び周辺エリアの諸団体等との連携
広島市中央公園エリアマネジメント協議会に参画し、中央公園広場だけでなく、旧市民球場跡地イベント広場や広島城三の丸の運営事業者等と連携して、中央公園全体のにぎわいづくりに積極的に貢献します。
また、紙屋町・八丁堀・本通り等周辺エリアの諸団体(カミハチキテル、紙屋町・基町にぎわいづくり協議会等)と連携し、各種イベントを通じて相互集客・送客を実施します。



《諸団体との各種連携イベント(クイズラリー等)》



5 施設の利用促進

● 集客目標

区分	令和5年度(2か月間)	令和6年度から令和14年度
スタジアムの集客目標	18.3万人	各年度110万人

- (1) 宣伝広報
多くの利用者等を有する当社会報誌及びSNS(Twitter、Instagram、YouTubeなど)や、県内主要メディア(新聞・テレビ)を始めとしたマスコミ各社との良好かつ強固な関係性を活かし、スタジアムの魅力発信やイベントの開催案内などを行います。
- (2) 利用者ニーズの把握、業務改善
NTTドコモのデータベースを活用した来場者データの収集や、利用者アンケートなどを通じて顧客ニーズの把握に努めます。
また、収集したデータに基づいて課題分析を行い、業務改善に努めます。

6 フィールド(天然芝)の維持管理

- (1) 専門職員による緻密なメンテナンス
スポーツ施設における天然芝の管理実績を豊富に持つ有資格者を当社の担当責任者として招聘するとともに、専門事業者の現場技術者が当社に常駐します。万全の体制を整え、緻密なメンテナンスを行います。
- (2) 高品質なフィールド管理
当社所属の男女のトップレベルのプレイヤーの意見を芝の維持管理に反映させる体制を構築し、Jリーグや国際試合に相応しいプレイングクオリティを重視した高品質のフィールド管理を実現します。
- (3) 他施設での運営ノウハウの継承
当社が指定管理を行っている安芸高田市サッカー公園における芝の育成ノウハウを本スタジアムに活用・継承します。



《安芸高田市サッカー公園フィールド管理》

7 地元・地域に配慮した管理運営

- (1) 騒音対策
イベント開催時は会場及び近隣住民の生活に支障をきたさないよう、騒音対策に配慮します。
- (2) 交通処理対策
興行開催時に警備員を配置・巡回し、スタジアム近隣の迷惑駐車を予防します。
- (3) 近隣町内会等とのコミュニケーション
近隣町内会等と定期的に意見交換の場を設けるなど、信頼関係の構築に努め、施設運営を改善します。
- (4) 地域貢献
家庭、学校に続く子どもたちの第3の居場所づくり事業として、「サンフレッチェHUB」を企画・運営します。その活動のひとつとして、サッカー教室の開催やキッズルームの活用などにより、子どもたちが都会の中で安心して楽しく活動できる環境を提供します。



《サンフレッチェHUB(サッカー教室)》

8 組織体制の充実

安心・安全なスタジアム提供、また、試合日だけでなく年間を通じてにぎわう施設として、より効率的かつ来場者に満足いただける運営・管理を実現できるよう、社内の組織体制を充実させます。
スタジアムには、指定管理業務で10人、自主事業で4人の常勤職員を配置を予定しており、そのうえで実績ある各協力事業者と連携し、業務体制を構築します。

※記載内容は今後一部変更となる場合があります。